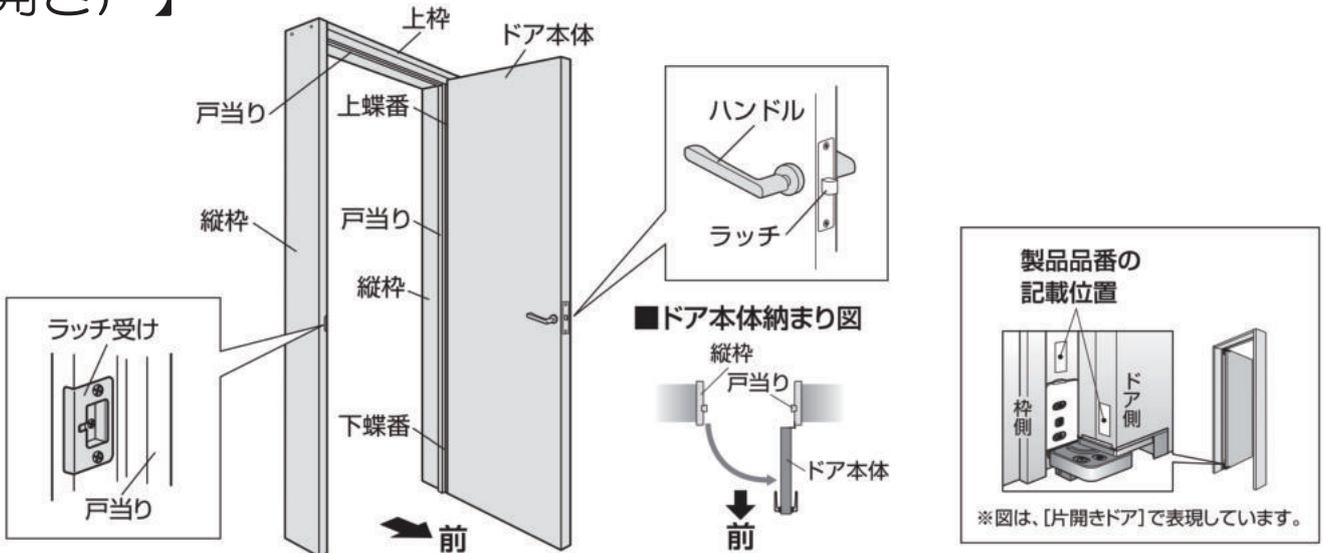


Panasonic 製内装ドア調整方法

【開き戸】



※蝶番のタイプにより蝶番の位置や調整方法が異なります。 あらかじめご確認ください。

蝶番のタイプ		蝶番の位置
フラット蝶番	<p>上蝶番 下蝶番</p> <p>縦枠側 ドア側</p> <p>※上蝶番と下蝶番では形状が異なります。</p>	
カバー蝶番	<p>縦枠側 ドア側</p>	
隠し蝶番	<p>縦枠側 ドア側</p>	

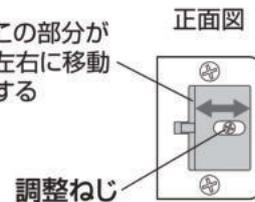
※シリーズにより、対応する蝶番のタイプは異なります。

■ラッチ受けの調整方法

- ドアの閉まり具合を調整します。



この部分が左右に移動する



※ラッチのかかり具合を確認しながら調整してください。

【蝶番の調整方法】

⚠ 注意

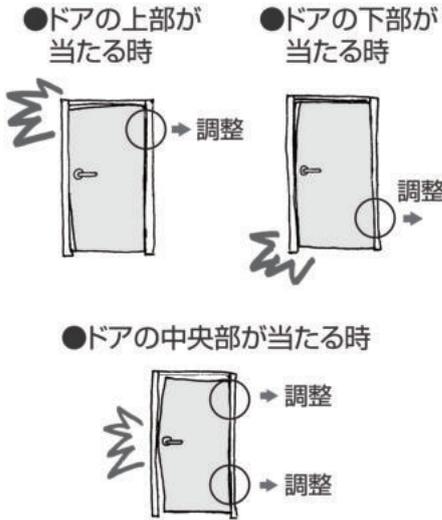


禁止

- 蝶番の調整時に、蝶番の固定ねじをゆるめすぎない
- 調整する時は、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しない
ドア本体が外れて、けがをするおそれがあります。

○カバー蝶番タイプの場合

左右調整の方法



調整手順	<p>① ①②の固定ねじをゆるめる (※ゆるめすぎないでください)</p> <p>② Aの左右調整用ねじで調整する</p> <p>③ 調整後、①②の固定ねじを締め付ける</p>
調整範囲	<p>4mm調整可能</p> <p>2mm ← → 2mm</p> <p>戸当り 蝶番側 ハンドル側</p>

前後調整の方法



調整手順	<p>① ①②の固定ねじをゆるめる (※ゆるめすぎないでください)</p> <p>② Bの前後調整用ねじで調整する</p> <p>③ 調整後①②の固定ねじを締め付ける</p>	<p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Bの調整ねじが固くて回りにくい場合は、蝶番に荷重がかからないように、ドア下部にスペーサーを入れるなどして調整してください。 ● すき間が均一になるように調整してください。 音なりの原因になります。
調整範囲	<p>4mm調整可能</p> <p>前へ3mm 後へ1mm</p> <p>戸当り</p>	

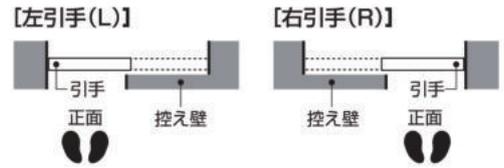
高さ調整の方法



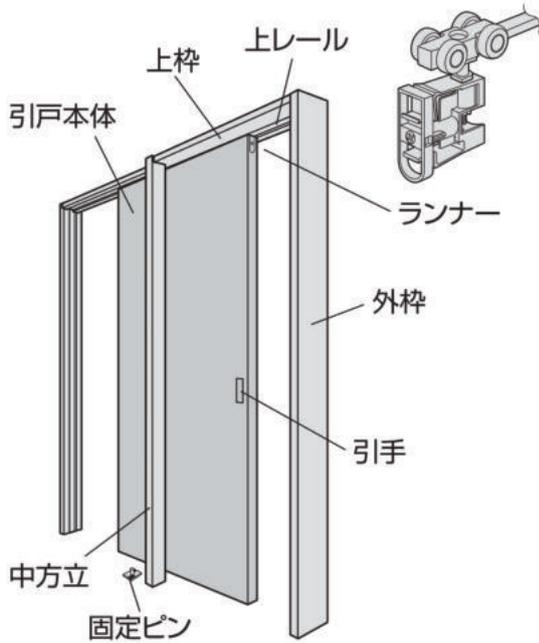
調整手順	<p>① 下蝶番の軸カバーを外す</p> <p>② 下蝶番頭部の高さ調整用ねじで調整する</p>	調整範囲
		<p>上に2mm 下に2mm</p>

上吊り引戸

●片引きタイプの納まりについて

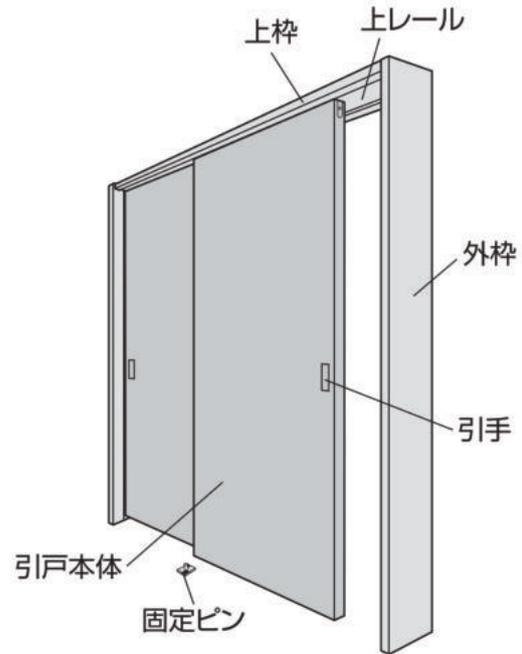


○片引きタイプ

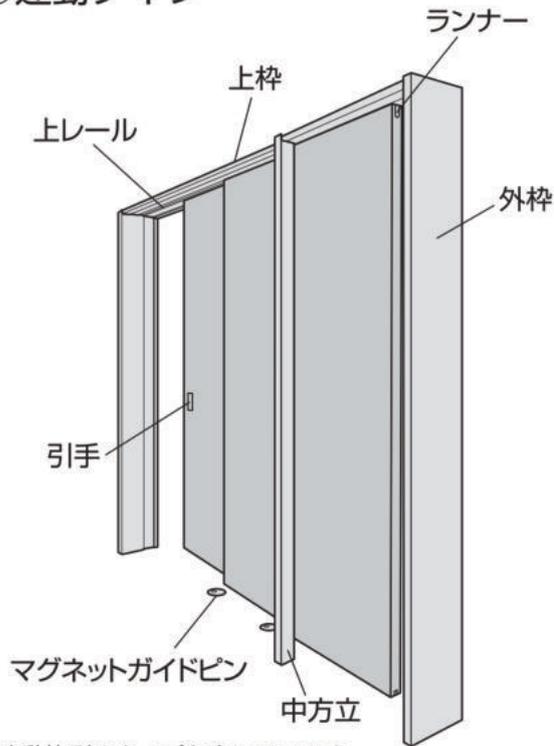


※図は、[右引手(R)]を表しています。

○引違いタイプ



○連動タイプ



※図は、3枚連動片引きタイプを表しています。
※図は、[左引手(L)]を表しています。

■連動機構のしくみ



1枚目の引戸を引くと



2枚目の引戸も連動して動く



3枚の引戸が一緒になって動く

※図は、上から見ています。

調整部 調整方法

ランナー

- 下部にすき間がある場合
- ▲右側のランナーを調整します。
- 下部をこする場合
- ▲左・右のランナーを調整します。

●調整ねじの部分に⊕ドライバーを使用して高さ調整をしてください。

お願い

- 調整する時は手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。
- 潤滑油などをささないでください。

鎌錠受け座（洗面所・トイレ用引戸）

[高さ調整]の方法

- 高さを合わせる

●鎌の目印の位置に、受けツメ先端がくるように高さ調整ねじを調整してください。

中方立

- ⊖ドライバー使用して、調整部3か所を回転させて調整します。
- 引戸本体とモヘア先端は、1~2mm程度のすき間を確保してください。

お願い

- 調整する時は手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。
- 潤滑油などをささないでください。

[前後調整]の方法

- 引戸を閉めて施錠し、ガタツキを確認してください。
- 前後調整ねじを⊕ドライバーをまわして前後調整をしてください。

引手の解除方法

- 表示錠
- 間仕切錠

非常時・非常解錠ピン穴にボールペンなどを差し込み、下側にスライドさせてください。

ご注意

○連動機構を使用した引戸を開閉する際の注意点

- 引戸を勢いよく動作させると、引戸の連結部品から外れることがあります。

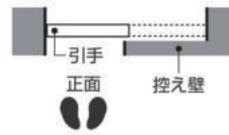
- 連結部品から外れた場合の対処方法

※下図のように、引戸をガチャと音がするまで強く押し込んでください。
(押し込んだ後、引戸が連動することを確認してください)

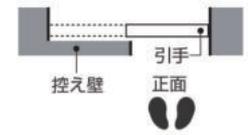
Y戸車引戸

●片引きタイプの納まりについて

[左引手(L)]

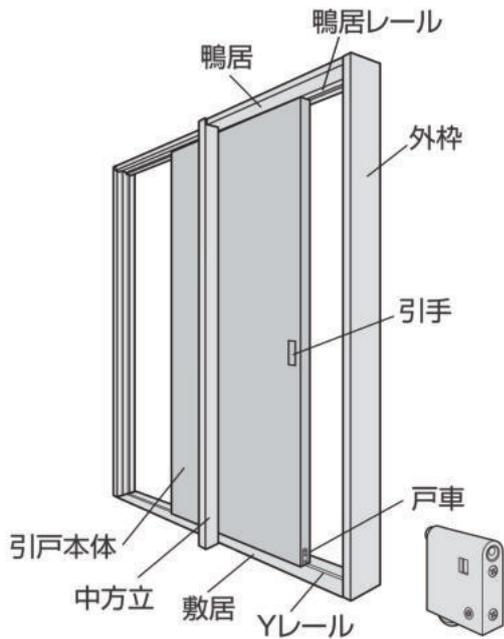


[右引手(R)]



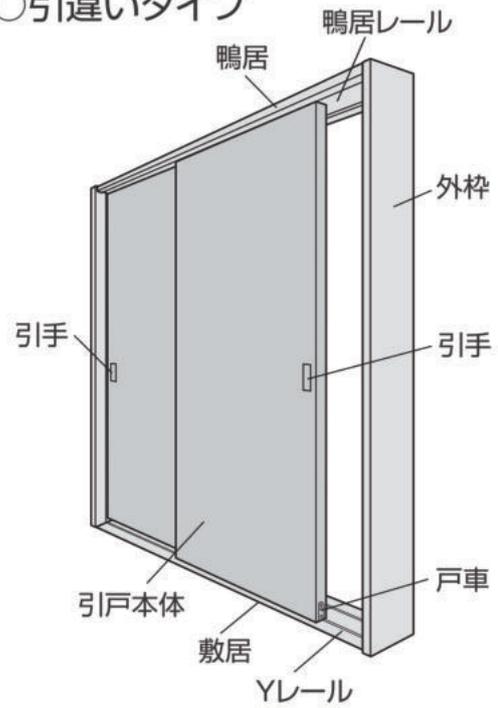
敷居仕様

○片引きタイプ



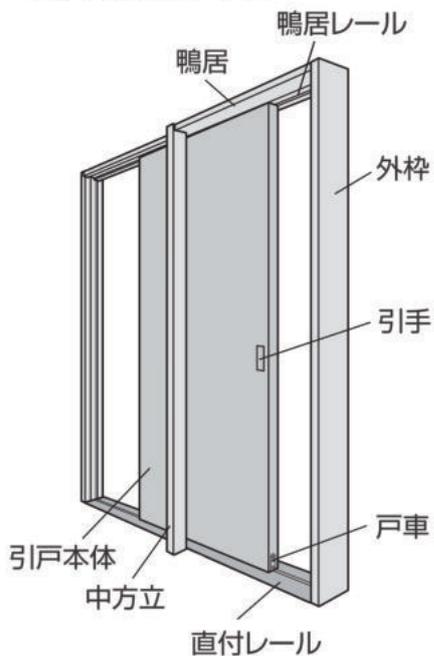
※図は、[右引手(R)]を表しています。

○引違いタイプ



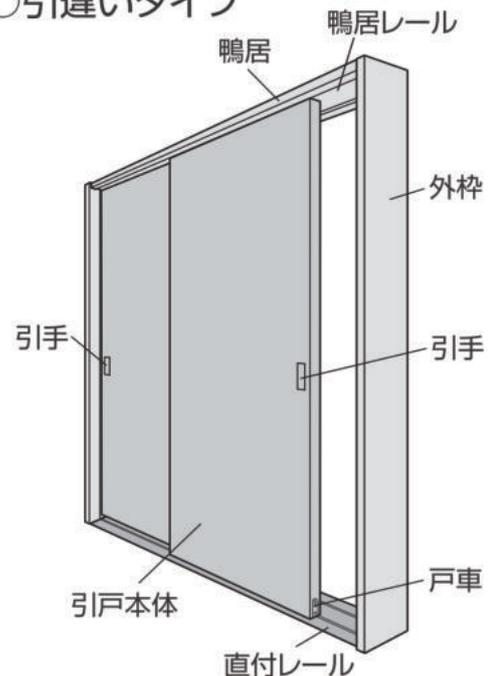
直付レール仕様

○片引きタイプ



※図は、[右引手(R)]を表しています。

○引違いタイプ



- 上部にすき間がある場合
- 下部にすき間がある場合

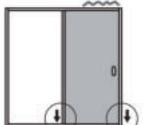


▲左側の戸車を調整します。



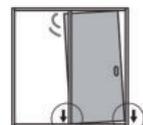
▲右側の戸車を調整します。

- 引戸本体とソフトクローズ受け、あるいは鴨居レールが擦れる場合



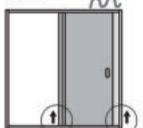
▲左右の戸車を下げてください。

- 引戸本体が引き込まれる直前に傾いてしまう場合



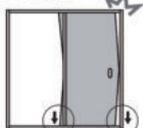
▲左右の戸車を下げてください。

- ブレーキの効きが弱い場合

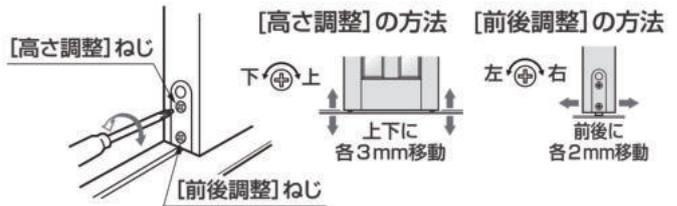


▲左右の戸車を上げてください。

- ブレーキの効きが強い場合



▲左右の戸車を下げてください。



- 調整ねじの部分に⊕ドライバーを使用して調整をしてください。
- 調整後、再度ソフトクローズが正常に作動するか、ご確認ください。

- お願い**
- 調整する時は手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。
 - 潤滑油などをささないでください。

⚠ 注意

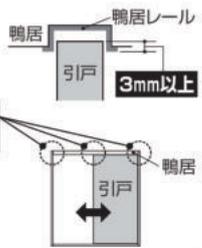


必ず守る

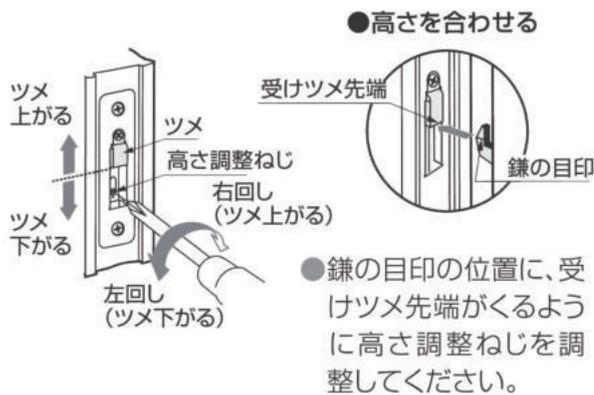
調整後、再度鴨居に引戸本体が充分(3mm以上)かかっていることを確認する。

引戸を開いた時と閉じた時の戸先・戸尻のすべてを確認してください。

かかりが少ないと、引戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。



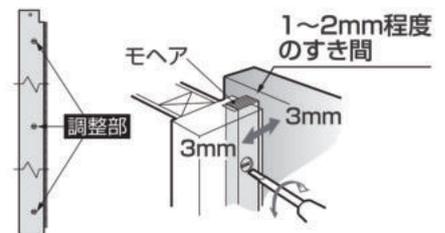
[高さ調整]の方法



[前後調整]の方法



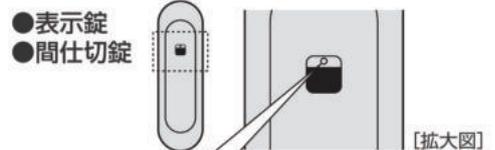
中方立



- ⊖ドライバー使用して、調整部3か所を回転させて調整します。
- 引戸本体とモヘア先端は、1~2mm程度のすき間を確保してください。

- お願い**
- 調整する時は手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。
 - 潤滑油などをささないでください。

引手の解除方法



非常時、非常解錠ピン穴にボールペンなどを差し込み、下側にスライドさせてください。